

Mon. Wea. Rev., 95, 319~339.

- 11) 新田 尚, 1967: 超長波の運動についての試論, OMEGA, 6, 1~28, 気象庁電計室有志.
- 12) 新田 尚, 1967: 成層圏と対流圏の力学的対流について——最近の理論的研究の展望. グロースベッター, 6, 10~37, LFグループ.
- 13) 関根勇八, 1967: Benwell の論文を主体としての対流圏と成層圏の長波の関連——とくに超長波の役割り——について. 東北技術だより, 32, 18~26.
- 14) Smagorinsky, J., S. Manabe, and J.L. Holloway, Jr., 1965: Numerical results from a ninelevel general circulation model of the atmosphere, Mon. Wea. Rev., 93, 727~768.
- 15) 須田 建, 朝倉 正, 村上多喜雄, 根山芳晴, 1965: 成層圏に関するシンポジウム, 天気, 12, 217~230.
- 16) 和田英夫, 1968: 対流圏と成層圏の相互関係(未発表原稿)

理事会便り

第14期 第16回常任理事会

日時 昭和43年1月13日(土) 16.00~18.45

場所 気象庁予報部長室

出席者 山本, 山元, 磯野(以上地方理事) 三宅, 桜庭, 神山, 根本, 岸保, 朝倉, 小平, 島山, 北岡, 小倉(以上常任理事)

報告

1. 定款変更の事務書類は12月26日 東京都教育委員会に提出した。
選管委員は委員長河村四朗, 委員は中野, 嘉納, 清水, 樫根, 保科にきまつた。
2. 集誌: 外国人会員制について通知をだした。16ページを超えた分の Page Charge は 2,000 円とする。
3. 地物研連: 気象分科会は第11次南極観測はオゾン, 宇宙線などの外に極高気圧の形成という気象プロバの仕事をを行ないたいので, その計画を南極特別委員会にだす事になった。科研配分委員の投票はまだである。GARP の来年度予算は通らなかつた。

4. 学術会議: 有権者名簿もれをなくすために北岡, 神山, 岸保, 朝倉で具体案を相談する。原案神山担当

議題
1. ベトナム民主共和国の気象界との学術交流について国際交流委員会で検討し, 疑問点を問合わせてみる。交流できる点は何かを研究する。

2. 学生会員について
学生の有志より, 申入れがあつた。それを基にして討論し, つぎのような問題点があげられた。次回はこの問題点についてさらに討論する。またそれまでに地方支部, 地方理事の意見を求める。

問題点

- (1) 大学生は経済的に余裕はなく, 奨学金, アルバイトで苦しい生活の貧しい子弟が多い。

(2) 気象学会は他学会と異なり, 大学に進学できずに気象官署に勤務している会員が多い。その負担によって学生の会員を優遇するのはおかしい, 少くとも片手落ちである。

(3) 学生会員を設けるとしたらその趣意は若い学会員の育成奨励におくべきで経済的要望は理由にならない。したがって権利の制限はしない方がよいのでなかろうか。

(4) 将来の気象学会を育てるための方策として必要なら, 新に学生で優秀な研究をしたものを対象として奨励賞などをだしたらどうか。

(5) 学生をして気象分野に興味をもたせることが第一でそのためには気象庁が魅力のある職場であることが第一の条件である。しかしそれは今すぐに達成されない。

(6) 学生会員の定義, 会費, 権利の制限, 事務処理などどうするか。

3. 韓国との集誌の交換

韓国だけでなく, 諸外国の研究機関への配布については学会から Name List をつけて気象庁図書課に申入れる。

学会の意見をまとめる。(小平理事担当)

4. 集誌のページ数の増加

実質的増頁を1月から行なう。

5. レーダ用語について

学会としてきめたいが他学会をみるとレーダー, レーダの両者がある。当面2本だてでゆく。

6. GARP 計画の推進につて, 文部大臣に申入れるなど P.R が必要なので, 学会としてまず要望書をだすなどの方策を考える。(小倉, 山本理事担当)